

# ホケンダイつきいちゼミ(2025年11月号)



Q1.研究テーマを教えてください。



A 「外国人介護人材の背景を活かしたキャリア開発支援と定着要因の検討」をテーマに研究しています。



Q2.お名前と今の仕事の内容を教えてください。



A 青森県立保健大学 社会福祉学科所属の工藤英明です。  
学部・社会福祉士養成課程では、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク論Ⅴ・Ⅵ、社会福祉施設経営論、4学科連携科目では、セーフティプロモーション、職業倫理とヘルスコミュニケーション、包括支援論、ヘルスケアマネジメント論・実習等、多職種連携に関する科目を担当しています。大学院(博士前期課程)では、特別研究のほか、社会福祉学系科目、MPHコース科目の一部、新たにCNSコースの老人看護領域の一部を担当しています。その他、高齢者福祉分野の研究と社会貢献活動をしています。

# ホケンダイつきいちゼミ(2025年11月号)



Q3. 研究室名とリーダーの先生を教えてください。



A 「介護保険政策・高齢者ケアシステム研究室」を、児玉寛子教授と二人で運営しています。



Q4. どうしてその研究をしようと思ったのですか。



A 高齢者福祉分野では、高齢社会を支える政策、地域のあり方、支援のあり方など、ミクロレベルからマクロレベルそれぞれで課題が山積しています。増え続ける高齢者と要介護者に対して、人口減少に伴う労働力不足から、国策として外国人介護人材の活用が推進されています。しかし、外国人介護人材を専門職として捉えた支援策はまだまだ未成熟の状況です。そのため、今後さらに増加が見込まれる外国人介護人材を単なる労働力の代替えと捉えるのではなく、施設や地域での共存者として、専門職キャリア開発による定着支援環境も必要と考えています。

この分野の研究や調査の多くは、雇用者側からのアプローチのため、外国人介護人材本人へのアプローチを試みることで、真のキャリア形成の意識や雇用・地域環境への評価を捉え、その結果から雇用者側に求められる支援や生活する地域社会の在り方などが検討できると考えています。



# ホケンダイつきいちゼミ(2025年11月号)



## Q5.それはどんな研究ですか。



A 外国人介護人材の専門職キャリア支援のニーズや方向性を検討すること及び地方で働く外国人介護人材の定着要因とキャリア開発形成との関連を探索することを目的としています。具体的には、①出身国で得た資格やキャリアを把握し、②個人が望む将来キャリアの把握とその日本でのキャリア開発方略を検討します、③外国人材の職業継続に与える個人的・社会的要因の中でのキャリア開発の影響の検討を行うこと、④地方の人材定着の課題を探索することを目的として、北東北3県、EPA出身者を中心にインタビュー調査を行っています。



## Q6.どんな成果が得られていますか。



A 現在進行形ではありますが、昨年度の青森県内のベトナム人材と受け入れ施設を対象とした実態調査からは、①人材還流システムとベトナムでの介護社会保障政策への影響、②一人夜勤や訪問介護の開放に伴う日本国内での課題、受け入れ時期により受け入れ態勢や課題、④EPA人材と技能実習人材の教育プログラム課題、⑤認知症高齢者への対応の課題、⑥日本の介護福祉士と海外の介護職の「介護」の認識課題、⑦青森の気候風土に合わせた地域生活支援、⑧日本語力・方言への対応、⑨ベトナムにおける看護・介護職のキャリアプラン等の課題を捉えました。

# ホケンダイつきいちゼミ(2025年11月号)



Q7.この結果をどんな人にどのように活用したいですか。



A これから日本で介護人材として働くことを検討している外国人人材の方、現に受け入れている、これから受け入れを検討している介護施設の管理者やスタッフの方に理解いただき、介護の質向上につなげていただきたいと考えています。



Q8.皆さんにメッセージをお願いします。



A 「介護保険政策・高齢者ケアシステム研究室」では、高齢者を取り巻く様々な社会的課題と支援方法を研究しています。

研究のキーワードは、家族介護やケアマネジメント、介護予防、社会参加、認知症ケアなどです。高齢者福祉課題について、青森県は、世界最先端のフィールドと言えます。現場で抱える諸課題について、解決に向けてともに探究してみませんか？



# ホケンダイつきいちゼミ(2025年11月号)



最後に、研究のことをもっと知りたい！大学院のことをもっと知りたい！場合は、どちらにコンタクトすればいいですか？



保健・医療・福祉政策システム領域  
介護保険政策・高齢者ケアシステム研究室 工藤英明  
e-mail: h\_kudo@ms.auhw.ac.jp



工藤先生、ありがとうございました。  
保健大学では、毎月、その年のテーマに沿って、  
情報を発信していきます！！